



衣川 実介

『ロシアの隕石』

2013年 2月15日、ロシア南西部のチェリアビンスクに宇宙からの贈り物が届きました。偶然にもその落下物は動画に撮られていた為、世界中の話題になりました。私も動画サイト、YouTube で数回見ました。隕石に興味を持つ私はぜひあの隕石を見たい、出来れば『鉄のふしぎ博物館』に展示したいと考えました。秋晴れの10月12日（土）京都へ『石のふしぎ大発見展』を見に行きました。昨年とは異なり、2月にロシアに落ちた隕石の影響で、隕石の展示販売をしている店が20軒もありました。ロシアの隕石を売っていると言う店の主人に質問しました。

『これ本物ですか？』私、 『本物ですよ。』店主
『どうやって隕石を見分けるのですか？』私、 『非常に困難です。』店主
『これがロシアの隕石なのですか？』私、 『信頼出来る店から仕入れたから。』店主
こんなやり取りの末、小さなロシアの隕石（約4g 17x14x13mm）を求めましたが、福沢諭吉1枚では足りませんでした。磁石に付くのを早速確認しました。

『隕石は全て磁石につく』と書かれた本を昔に見てから、常に疑問を感じていました。『全ての隕石が磁石につく訳がない。一部は磁石につかないものもあるはずだ！』そう考えていました。12月号でも書きましたが、私の考えは間違っていないでした。ほとんどの隕石が磁石につきますが、火星からの隕石のように磁石につかないものもあるのです。この1年間隕石や隕鉄を追っかけてきましたが、最後に衣川流隕石の見分け方を記します。

インターネット上JAXA（宇宙開発事業団）のページに『磁石がつかなければ隕石ではありません。』との記載がありますがこれは誤りです。

地球上の石コロでも磁石につくものはけっこう有るものです。花崗閃緑岩・蛇紋岩・磁鉄鉱など、しかし、そのままでは磁石につかない赤鉄鉱やベンガラ、ソブ（赤土）なども一度加熱すると磁石につきます。隕石の中に含まれる鉄分が落下時、高温になり磁石につくようになるのかもしれない。

隕石の見分け方

1. 隕石表面の色
茶褐色→黒色
黒に近い色のモノは隕鉄の可能性あり。
2. 磁石につくか
強く付く→隕鉄（断面に幾何学模様）
少しつく→隕石（破面に丸い粒が見える）
3. 手に持ってみる
非常に重く感じる→隕鉄（鉄の塊よりも重い）
石コロより少し重く感じる→隕石

ロシアの隕石



『鉄のふしぎ博物館』

来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。
ぜひお越しください。



むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！

隕石



モロッコ 1976年
76g 42mmx36mmx32mm

隕鉄



鉄のふしぎ博物館



ホームページと電子メールをご利用ください。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
ryou@memenet.or.jp